

神子区公民館だより

第50号
令和5年12月
発行責任者
高下清人
☎59-2533

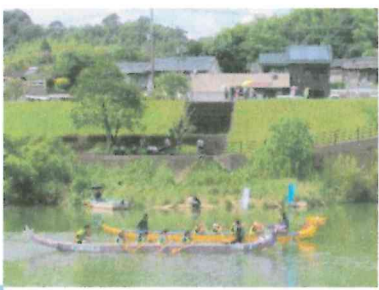
水辺の楽校 鶴田龍舟祭

タイムトライアル大会

8月20日(日)晴天、鶴田龍舟祭タイムトライアル大会が5年振りに開催。今回は新たな実行委員会のもと、鶴田地域(旧鶴田町)の在住者及び出身者の公民会、スポーツ協会、同好会等並びに鶴田地域の職場、スポーツ少年団、小学校の学級単位等で構成するチーム(小学生以上)での開催となりました。

神子橋下流を会場とし、午後2時15分の号令で小学生5チーム、一般11チームの参加で熱戦が繰り広げられました。5年振りとあって各チームの熱気が伝わってきました。

安心して親しまれる水域を活かした大会は、地域の交流と人との絆を繋ぐ大切な行事だと思えますので、今後の開催を期待しています。(館長)



↑カンパレ! キパレ!
負けるな! 漕げ漕げ!

↓表彰式 頑張った皆さん
おめでとうございます



鶴田小学校校区大運動会

館長代理の金輪回し!!

一生懸命に短距離走



10月29日(日)晴天、第2回鶴田小学校校区大運動会が行われました。新鶴田小になって2回目ですが、初めて小学校校区大運動会となりました。

神子区、湯田区、鶴田区が決められた場所それぞれにテントを張り、児童に加えて保護者・祖父母・地元住民の応援合戦で幕開けです。低学年からのかけっこと短距離走で応援は一層盛り上がりです。高学年生ともなると地響きを上げて駆け抜けます。迫力満点! 地域対抗金輪回しリレーでは、昔取った杓柄で下大迫正昭館長代理が自信ありげに次の走者へタッチ。もうすぐ1年生の子どもたち10名が駆ける姿は、なんとも「かわいい」でした。

昼食は家族で! ずいぶん昔の風景を思い出します。また、有志応援団による「コケッコ!!」には児童も大勢が飛び入り参加。将来もこの風景見られそうで一安心!

5種目の地域競技は久々のことで皆さん大張り切り。後半の年齢別リレーと紅白対抗リレーの声援は近くの鳥たちが飛び立つ程でした。学校校区運動会で地域の絆を深めることができました。(館長)

マイタイムラインの作成

11月8日(水)鶴田ダム管理所において、マイタイムラインを作成しました。山崎、二渡、神子の館長3名と、6公民会長・副会長の9名が出席しました。対象は、川内川沿いに住まいるある公民会です。神子区は、櫃ヶ迫、高嶺、中間公民会が対象です。

午前中は、マイタイムラインとは何か。防災情報の取得。鶴田ダムの機能について説明がありました。

マイタイムラインとは、台風の接近によって、河川水位が上昇する時に、住民一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせ、「どのタイミングで、どう行動するのか」をあらかじめ整理した自分自身の防災行動計画です。水害リスクや防災情報を「知る」ことから始まり、準備するもの・避難のタイミング等の避難行動に向けた課題に「気付き」、どのように避難行動するのかを「考える」ことが重要です。また、住民一人ひとりがハザードマップを活用し、地域の水害リスクを認識し、避難に必要な情報・判断・行動を把握することにより、避難の実効性を高めることを期待し「逃げ遅れゼロ」を目指した取り組みです。

防災情報取得の手段として、テレビのデータ放送やスマートフォンの活用等について説明がありました。鶴田ダムの機能については、昭和48年、平成18年の豪雨災害を受けて、

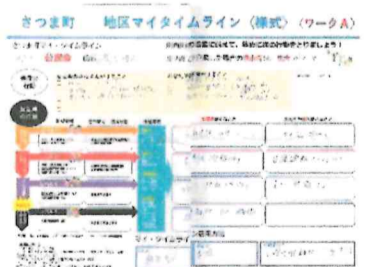
秋空の下、競技に応援に、大盛り上がり!!



ダムの洪水調節容量の増加を目的に平成19年からダムの放流口を下げて貯水量増加のための工事を開始し、平成30年に完成。令和3年7月の豪雨の際は機能を発揮し大きな被害を防ぐことができました。

午後からは、マイタイムラインの作成です。まず、事前チェックシートの作成。次に「防災行動」のパーツの作成。マイタイムラインの完成後の活用方法について、「いつ・どこで・どのように」を活用例の参考に記入し、検証しました。

今回は公民会の会長等での作成でしたが、今後は実際に川沿いに住まいる個人・家族の方々が作成する必要があります。今後神子区は、各公民会毎に作成する予定です。(館長)



役員研修会

11月11日(土)区役員研修会を実施しました。午前9時、区コミセン下駐車場に集合。川内原発視察のため、バス乗車前にパスポート! 身分証の確認。バスに揺られること約1時間18分・串木野地下石油備蓄基地(ちかび)に到着。展示館を見学しました。この基地は、昭和61年に国家石油備蓄会社を設立、平成6年に完成。地下深くに高さ22m、幅18m、長さ555mの岩盤タンクが10本あり、175万kℓの原油を備蓄できます。備蓄基地のためこれまで一度も使用されていないとの事。

この備蓄量は日本で使用する約5日分に相当します。役員皆びっくり!

午後からは、まず、原発展示館で約1時間、館内を案内・説明をしてもらいました。難しい構造や、表記等を理解できたのか!?

いよいよ警戒厳しい原発内へ。入口手前で係員がバスに乗り込み事前に届出した身分内容を一人ひとりチェック。ちよつと緊張。外を見るとバスを感知機で丁寧にチェック。OKが出て原発内へ。係員の案内で約1時間。原子力規制委員会の新しい基準を基に整備・建設された施設を見て回りました。20年間の運転延長についてはあまり触れませんでした。頭いっぱい詰り込んだ知識を抱えて帰路につきました。

帰路の途中川内港に寄り道。新鮮な食材を両手に。コミセン到着後、反省会・親睦会を行いました。今回の研修を神子区の一步前進に活かしたいと思えます。

【研修趣旨】※本研修を通して社会情勢等を再認識し、この研修を神子区公民館活動に活かし、神子区の発展に寄与するものである※(館長)



親切丁寧な案内・説明ありがとうございました

第19回さつま町駅伝競走大会

11月12日(日)第19回町駅伝競走大会が白男川地区の周回コースで行われました。鶴田地区からは、A・Bの2チームが出場しました。白男川紫陽館前を午前10時にスタート。Aチームは前半2位につけ、前方を行く屋地・船木チームの背中を追う形になりましたが、7区の小川耀平選手の力走で逆転。その後徐々に差を広げてゴール。2位に1分40秒のタイム差で昨年に続き見事2連覇を達成しました。また、Bチームも全区間で力走、総合7位でゴールしました。これからも2チーム出場を目標に、頑張り続ける選手の皆さんにエールを送ります。

出場にあたり、10月初めから鶴田小学校グラウンドで週2回の練習を行い、小学生を中心に切磋琢磨！栄冠を掴みました。練習の送迎をして下さった保護者の方々、試走等で協力していただきました各支部の体育部長の皆様、誠にありがとうございました。そしてまた、今回出走出来ずにサポートに回ってくれた皆さんの力強い声援に我がチームの団結力を感じました。チームスタッフはもとより、地域の方々の支えに感謝致します。ありがとうございました。(下大迫 正昭)

【結果】(関連分)

優勝

鶴田 A

7位

鶴田 B

【区間賞】

1区(30代)

内翔平

3区(中学生)

柳田 悠翔

8区(40代)

萩木場 啓三



アンカー 湯田幸明選手



10区 下市聖風選手

「人・農地プラン」会議



新しい計画策定に皆さん真剣顔



11月25日(金)人・農地プラン(神子区の農業を考える会)を開催しました。

役場から担い手育成支援室長を含め6名、区から認定農業者、農業委員、農地利用最適化委員、公民会長、監査委員と正副館長の計21名で将来を見据えた検討会でしたが、認定農業者の出席が少なかつたのが気がかりです。今年度から国の施策が変わり、新たに示された「地域計画の策定」を実施することになりました。これは、5年後、10年後地域の農地は誰が利用し、どうまとめていくか。また、地域の農業をどのように維持、発展していくか等、より具体的な計画です。会議では、これまで計画してきた現状を基にして地域計画策定に着手しました。農地の集約化や、担い手不足・後継者等の課題がある中、参加者は真剣に協議しました。

また、「農地利用最適化推進委員」の大野恵美さん(大野)は「さつま町の農地「貸したい・借りたい」アンケート」に参加者に配付。農業経営や、所有農地で悩んでいること等を調査し、地域の農地の将来の在り方の検討資料にするとのことでした。農地で悩んでおられる方は、右記の大野さんか、公民会長、認農の方に相談してはどうでしょうか。神子区も益々高齢化が進み10年後の見通しが難しいのが現状ですが、区の基幹産業である農業・畜産・林業をこのままにしておく訳にはいきません。皆さんで考えましょう。(館長)

「神子の地に居を構え」

鶴田小学校 校長

松久保 鉄也

「朝日に映ゆる紫尾山を♪」神子小校歌の出だしである。地域に愛された彼の学校が暮を閉じるまで五十年間、そして、六十年の歳月を経て、この神子の地に再び灯火、いや壮大なる神光が差している。それが新設鶴田小だ。

その鶴田小の初代校長として、旧鶴田小からやってきた。そして、神子の地に住居を構えることになった。すると周りの知人が驚いた。「この地区名『神子』は何と読むのか」、「神聖な土地なのか」、「どんな謂われがあるのか」、私の過去を知る者たちは、私に似つかない地名に戸惑っていた。私自身、郷土史で地名の謂われを探したが、答を知ることができなかった。

しかし一年半住み、その神の意味を自分なりに理解し始めた。例えば、宴会の神。公民館での酒席を大いに盛り上げる神。献身の神。消防団等、見えない場所で地域住民のために活動する神。農業の神。奥薩摩の自然力を引き出しおいしい農作物を育てる神。正に女神。地域の酒席を陰で支える女性神。絵画の神。独学で学んだ絵がCMに採用されるほどの筆の神。グラウンドゴルフの神。でこぼこのグラウンドでも打った球は糸引く直線神。安全の神。児童の登下校を温かい目で見守る神。

この地に「神」が付くが故に、このような「神」が多数存在するののか、その逆なのか、そこは定かではないが、とにかくこの地で生きた一年半、私にとって人生の極楽である。

稲留神社

分収造林契約期間延長

12月2日(土)稲留神社の分収造林(区有林・小兎ヶ尾・水源かん養保安林)の契約期間延長について役員会を開きました。この契約(契約先・国立研究法人 森林研究・整備機構 森林整備センター)は、37.85ha(協定除地含)あり、昭和45年3月31日から令和12年3月31日までの60年間です。

昭和45年から58年にかけて植栽したスギ、ヒノキが皆伐時期にきていますが、1箇所当たりの皆伐限度が10ha以下となっており、3〜4回で皆伐する必要があります。このため現在の契約期間では全てを皆伐出来ないため、契約期間の延長が必要です。役員会において、森林整備センター担当者の意見を含め検討した結果、変更契約現地調査や路網の整備等を考慮した場合、30年間延長が望ましいことから、契約期間を90年とすることになりました。皆伐箇所の更新伐は、期間中に再検討することとしました。(館長)

任期満了に伴う区役員改選

今年度は、任期満了に伴う役員改選(館長、監査委員2名)の年になります。候補者届出を、令和6年2月6日から3月5日午後5時まで公示します。立候補される方は、期日までに届出下さい。時期がきましたら公民会放送等でお知らせします。

選挙管理委員会委員長・栗野則幸
委員・橋西健一・高嶺実樹雄

神子区 収入事業を展開

8月の神子区夏祭りと鶴田龍舟祭に区独自で、飲み物(酒類除く)の屋台を出店しました。下大迫館長代理が代表となり、夏祭りは中間、新田、栗野、柳野、大俣の公民会長さんが、飲み物販売

と灯ろう飾りに分かれて活動しました。昨年の花火大会時より多く仕入れました。また、灯ろうは、幻想的な風景を醸しだし、皆さんに見てもらいました。

龍舟祭は、湯田原、櫃ヶ迫、大野、上下大迫、高嶺の会長さんが販売し、こちらも完売。両祭りに参加された皆さんが積極的に買ってくれました。

この収入は、区の一般会計に計上。これからも収入事業を展開しますので、ご協力をお願いします。出勤してもらいました公民会長さんありがとうございました。(館長)



暑さも加勢し大人気!



新年にむけて 《館長》

区民の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。今年度は新型コロナウイルスが5類になり地域が活気づいてきましたが、未だ新規感染者が発生しており、自分なりの対策が必要かと思えます。神子区では、敬老祝賀会を除きこれまでの行事は全て実施できました。皆さんのご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。

また、台風や豪雨等による被害が少なかつたことは幸いでした。しかし、他の地域では今までも増した災害が発生しています。油断大敵!! 神子区が住みやすく、生きがいをもつて生活できる地域になるよう区民一同協力しましょう。神子区民全員で『オール神子で 新たな挑戦』です。来年は新しい展開がまっています! 皆様良いお年をお迎えください。

